

McC. Brooks, Ch. and Cranefield, P. F. (eds.):
The Historical Development of Physiological
Thought. Hafner, New York. 1959.

六 投稿原稿は、コピーを一部添付すること。原稿は著者校正の際も原則として返却しないので、手元にコピーを一部残すこと。

七 著者校正は、原則として原著・総説・研究ノート・広場・資料を対象とし、初校のみとする。校正は印刷上の誤植を訂正するに留め、原稿の変更や、その他の組み替えは認めない。校正刷りの返送期日を厳守すること。期日ま

編集後記

本号は原著四報、研究ノート一報、資料四報など、計一八〇頁の厚さとなった。ことに原著が多いのはここ四、五年来の傾向で、新世紀にむけ本学会がいよいよ発展することを予感させる。▼ところで、本年度第四五巻一号よりページ組みが変化したことにお気づきだろうか。ひとつは全ページ上欄に誌名・巻号・年を入れたこと。これで本誌の部分コピーでも出自がはっきりする。もうひとつはページ数を各巻の通しノンプルのみとし、従来併用していた各号ごとのノンプルを廃止したこと。以前からご指摘を受けていたが、これにより本誌論文を引用する際のページ表記の混乱がなくなるだろう。▼さきの総会で投稿規

でに返却されない場合は責了とみなす。

八 刷り上がり一〇印刷ページ(四〇〇字詰原稿用紙で二四枚)までは原則として無料とし、超過分と図表製版の実費は著者負担とする。

九 論文別刷は五〇部単位とし、実費で作製する。別刷希望者は校正刷同封の申込書に部数を明記すること。

一〇 原稿の送り先

〒二二八四三 東京都文京区本郷二丁目一―

順天堂大学医学部医史学研究室内
日本医史学雑誌編集委員会

定の一部が変更された。▼第一点は、原著と研究ノートにおいて従来の欧文要旨に加え、その対訳和文も和文要旨として本文冒頭に掲載、また表題と要旨から選択した和文のキーワード各五語以内を付加するよう変更したこと。▼第二点は参考文献の記述形式で、従来は刊年を「一九八四(昭和五十九年)」のように例示していたため、西暦・和暦の双方が必要とも誤解されるので、「一九八四年(または昭和五十九年)」のように変更した▼どうぞ以上二点にご留意いただき、どしどし力作をご投稿下さるようお願いしている。

(真柳 誠)